

川湯跡佐北地区



屈斜路湖（日本最大のカルデラ湖）のほとりで
収益性の高い農業経営の確立を目指す

■地区の概要

本地区は、北海道川上郡弟子屈町に位置した自然豊かな農業地帯にあり、小麦、そば、ばれいしょ、大豆等を組合せた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営を展開しています。

また、地区内で生産される生食用ばれいしょは、摩周ブランドとして北海道内の市場に出荷しているほか、地域の特産品としてふるさと納税の返礼品に使用されています。



ばれいしょの収穫



そばの刈り倒し



牧草の集草

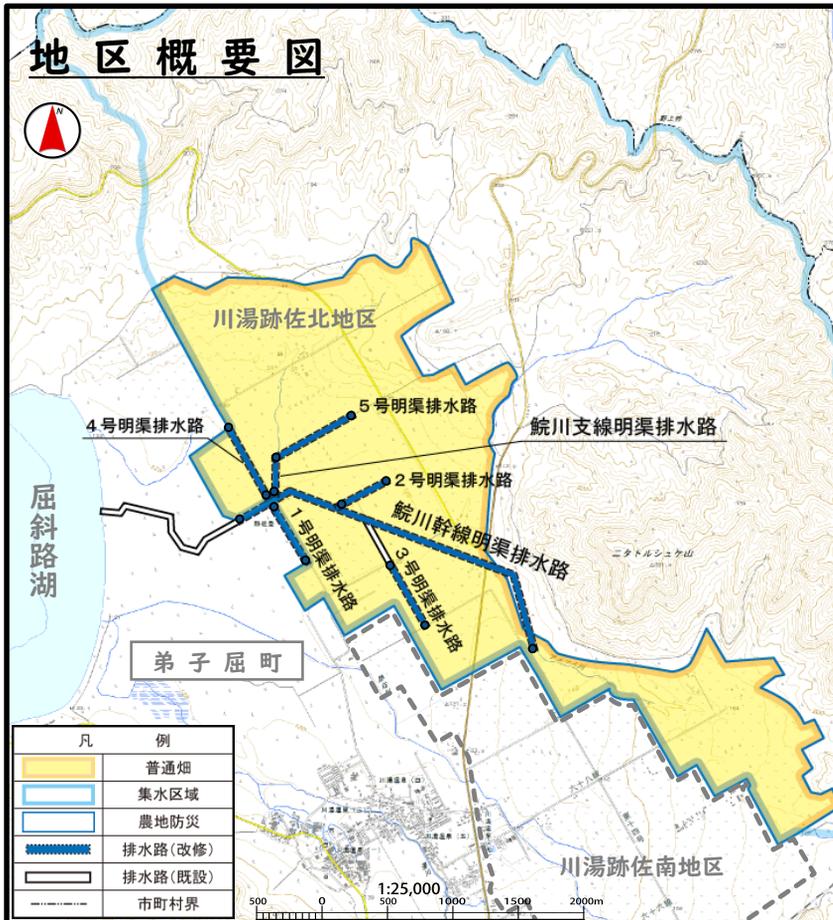
釧路管内の主要作物作付割合

■ 釧路管内（弟子屈町を除く）
■ 弟子屈町内



資料：2020世界農林業センサス、JA摩周湖等

地区概要図



■地区の課題

地区内では、国営川湯土地改良事業（S46～S54）等により農業用排水路が整備されました。しかし、侵食を受けやすい火山性土壌に起因した農地侵食、排水路法面の崩壊等により、排水路の機能低下による農地の湛水被害及び過湿被害が発生し、収益力向上に向けた取組の支障となっています。



【農地の土壌侵食】



【農地の土壌流出】



【排水路の機能低下】



【湛水被害の発生】

■事業計画概要

関係市町：北海道川上郡弟子屈町
受益面積：469ha
主要工事：排水路(改修)7条 L=5.8km

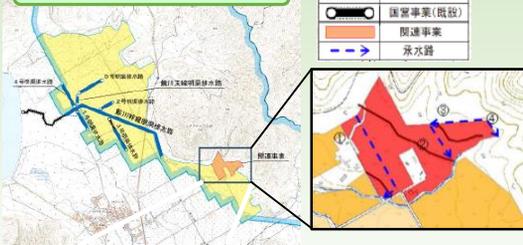
■ 整備構想

本事業では、農業用排水路の機能回復及び土壌侵食等の災害の未然防止を図る対策工と併せて排水路の整備を行います。

本整備により、農地の湛水被害及び過湿被害を解消し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土保全に貢献します。

また、関連事業により農地内に承水路を設けることにより、農地からの土砂流入の対策を行います。

関連事業予定位置図



【対策工のイメージ図】

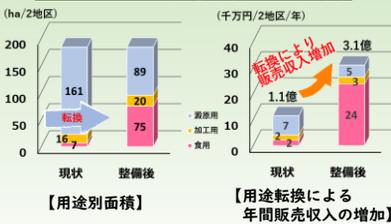


■ 地区の目指す姿

湛水被害の解消による生産性の回復

事業実施により、排水路の機能回復と土砂流入の抑制が実現し、**湛水被害リスクが解消される**ことで、町の目標である**澱原用ばれいしょ**から**収益性の高い食用及び加工用ばれいしょへの用途転換が実現**します。

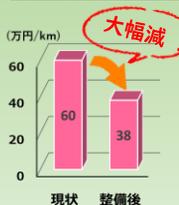
ばれいしょの用途転換による効果



排水路の機能維持と土壌の保全



排水路維持管理費



幅広水路工により、**浚渫作業が効率的**に行えるようになり、維持管理費が大幅に節減され、農家による営農（堆肥投入）と相まって、**排水路の機能維持**を実現します。

効率的な農作業体系の確立

生産性の向上に伴う販路拡大



スマート農業への取組



自動操舵付トラクターによる農作業状況

■ 事業を契機とした地域の動き

本地域では、収益性の高い農業経営の確立に向け、ばれいしょの用途転換を強力に進め、地域ブランド力向上、弟子屈町産牛乳を使用したチーズの生産・販売などの6次産業化や「道の駅」による地元農産物の販売のほか、道東トレイルとの協働による地域農業発展に向けた取組を行っています。

また、森林資源を活用したカーボンニュートラルの実現に向けた民間企業との連携協定や、地域資源を活用したJ-クレジット制度の認証取得に向けた取組を通じて「てしかがゼロカーボンシティ」を目指しています。

地域ブランドづくり

産地指定品として国内各地へ出荷



6次産業化

弟子屈チーズ工房



地元農産物の販売

道の駅摩周温泉(直売所)



地域農業発展への取組 (北海道東トレイルとの協働)



カーボンニュートラルへの取り組み

